

年度 2008 学期 後期	曜日・校時	水一Ⅱ	必修選択	選択	単位数	2
授業科目/(英語名)	社会と歴史(緑地環境学) Society and History (Landscape Planning)					
対象年次	1・2年次	講義形態	講義	教室		
対象学生(クラス等)	全学部		科目分類	人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	渡辺貴史/twatanab@nagasaki-u.ac.jp/環境科学部・全学教育講義棟 353 室/819-2720/水曜日 12:00-14:00					
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標	<p>授業のねらい: 緑地環境に関わる基本的知識を身に付け、緑地を活かした地域づくりの重要性を認識する。</p> <p>授業方法: 主として教員が配付するハンドアウトにもとづき、板書・パワーポイント等を用いて説明する。なお、講義内容の理解をうながすために、小レポート及びテストをおこなうことがある。</p> <p>授業到達目標: (1)緑地を活かした地域づくりに関わる基本的用語や見方等を身に付ける。(2)(1)の知識をもとに、現実の緑地環境を批判的に分析し、効果と問題点を把握し、問題点の解決に役立つ対策を説明できる。</p>					
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)	<p>概要: 前半(第 1-3 回)は、主として、緑地の定義、緑地の機能(分類の仕方・内容)、機能と暮らしの結びつきなど以降の授業を聴く上で基本となる知識について説明する。中盤(第 4-13 回)では、緑地環境が立地する地域を、(1)都市地域、(2)郊外地域、(3)農山村地域にわけ、それぞれの地域にみられる主要な緑地環境の役割・歴史・現状・問題点について説明する。後半(第 13-14 回)は、こうした緑地環境を計測・分析する手法の概要について、実例を用いながら説明する。最後(第 15 回)は、これまでの講義内容について、まとめをおこなう予定である。</p> <p>予定: 第1回: イントロダクション: 緑地とは何か 第2回: 緑地の機能(1): 緑地の機能とは? 第3回: 緑地の機能(2): わたしたちの暮らしと緑地の機能の関係 第4回: 都市地域の緑地(1): 都市公園の歴史とこれから 第5回: 都市地域の緑地(2): 街路樹の役割と問題点 第6回: 都市地域の緑地(3): 水辺を活かした地域づくり 第7回: 郊外地域の緑地(1): ニュータウンの緑地の成り立ち 第8回: 郊外地域の緑地(2): 都市と「農」の新たな関係 第9回: 郊外地域の緑地(3): 里地・里山とは何か? 第10回: 農山村地域の緑地(1): 農林地の環境保全機能 第11回: 農山村地域の緑地(2): 農林地を活かした地域づくりの現状と問題点 第12回: 農山村地域の緑地(3): 日本の森林の現状と問題点 第13回: 緑地環境をはかる 第14回: 緑地環境を分析する 第15回: まとめ</p>					
キーワード	公園, 街路樹, 水辺, ニュータウン, 農林地, 森林, 環境保全機能, 景観保全, 生物多様性					
教科書・教材・参考書	<p>教科書: 特に定めません。 教材: 講義時にハンドアウトを配布する予定です。 参考書: 井手久登編:「緑地環境科学」。朝倉書店 武内和彦・鷺谷いづみ・恒川篤史編:「里山の環境学」。東京大学出版会。 恒川篤史:「緑地環境のモニタリングと評価」。朝倉書店 平田富士男:「都市緑地の創造」。朝倉書店 横張真・渡辺貴史:「郊外緑地の再生(仮題)」。朝倉書店など</p>					
成績評価の方法・基準等	平常時の取り組み(授業中の態度, レポート・課題への取り組み):40% 定期試験:60%					
受講要件(履修条件)	特にありません。(1)都市計画や農村計画等の地域計画に関心を持っている,(2)地理学・生態学・造園学・心理学といった学問分野に興味を持っていると、興味深く取り組めるかもしれません。					
本科目の位置づけ/学習・教育目標	緑地を活かした地域づくりに必要な人文・社会科学, 自然科学の基礎的な知識の使い方を学ぶ科目です。関係する科目としては, 都市・地域計画, 地域・環境政策関連の科目などが挙げられます。					
備考(準備学習等)	<ul style="list-style-type: none"> 分類は, 人文・社会科学系の科目となっておりますが, 緑地をあつかっているため, 講義内容に自然地理学・生物学・生態学といった自然科学的な要素が含まれることをあらかじめご承知おきください。 内容及び順番は, 講義の進み具合によって, 変わる可能性があります。 					